【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成28年5月12日(2016.5.12)

【公表番号】特表2015-516473(P2015-516473A)
【公表日】平成27年6月11日(2015.6.11)
【年通号数】公開・登録公報2015-038
【出願番号】特願2014-560498(P2014-560498)
【国際特許分類】
Ｃ０９Ｄ　11/326　(2014.01)
Ｂ４１Ｊ　2/01　(2006.01)
Ｂ４１Ｍ　5/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｄ　11/326
Ｂ４１Ｊ　2/01　５０１
Ｂ４１Ｍ　5/00　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成28年3月4日(2016.3.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
水ベースインクジェット用インク配合物であって、
（ａ）水を含み、前記水が前記インク配合物の少なくとも８重量％を構成する溶媒、
（ｂ）前記溶媒中に分散されるか、または少なくとも部分的に溶解され、前記インク配合物の少なくとも１重量％を構成する少なくとも１種の着色剤、および
（ｃ）前記溶媒中に分散されるか、または少なくとも部分的に溶解され、前記インク配合物の６～４０重量％を構成する有機ポリマー樹脂、
を含み、
前記ポリマー樹脂／前記着色剤の重量比が少なくとも１：１．５であり、
前記ポリマー樹脂の平均分子量が少なくとも８，０００であり、
前記インク配合物が、（ｉ）２０～６０℃の範囲中の少なくとも１点の温度で２～２５センチポイズ（ｃＰ）の粘度、および（ｉｉ）２０～６０℃の範囲中の少なくとも１点の温度で５０ミリニュートン／ｍ（ｍＮ／ｍ）以下の表面張力、の内の少なくとも１つの特性を有し、
前記インク配合物が、実質的乾燥時に、（ａ）９０℃～１９５℃の範囲中の少なくとも１点の温度で、前記乾燥インク配合物が１，０００，０００（1×10^{6}）ｃＰ～３００，０００，０００（3×10^{8}）ｃＰの範囲の第１の動的粘度を有し、および（ｂ）５０℃～８５℃の範囲中の少なくとも１点の温度で、乾燥インク配合物が少なくとも８０，０００，０００（8×10^{7}）ｃＰの第２の動的粘度を有し、前記第２の動的粘度が前記第１の動的粘度より高いインクであり、
６０℃での前記第２の動的粘度の、９０℃での前記第１の動的粘度に対する比率が、少なくとも１．５：１である、インクジェット用インク配合物。
【請求項２】
前記温度が１６０℃から下がるに伴い、前記乾燥インク配合物の粘度は単調に増加する、請求項１に記載のインクジェット用インク配合物。

【請求項３】
前記第１の動的粘度が最大７＊１０^{7}ｃＰである、請求項２に記載のインクジェット用インク配合物。
【請求項４】
前記第２の動的粘度が、少なくとも９＊１０^{7}ｃＰ、少なくとも１０^{8}ｃＰ、少なくとも１．１＊１０^{8}ｃＰ、少なくとも１．２＊１０^{8}ｃＰ、少なくとも１．３＊１０^{8}ｃＰ、少なくとも１．４＊１０^{8}ｃＰ、少なくとも１．５＊１０^{8}ｃＰ、少なくとも２．０＊１０^{8}ｃＰ、少なくとも２．５＊１０^{8}ｃＰ、少なくとも３＊１０^{8}ｃＰ、少なくとも３．５＊１０^{8}ｃＰ、少なくとも４．０＊１０^{8}ｃＰ、少なくとも５．０＊１０^{8}ｃＰ、少なくとも６＊１０^{8}ｃＰ、少なくとも７．５＊１０^{8}ｃＰ、少なくとも１０^{9}ｃＰ、少なくとも２＊１０^{9}ｃＰ、少なくとも４＊１０^{9}ｃＰ、または少なくとも６＊１０^{9}ｃＰである、請求項１～３のいずれか１項に記載のインクジェット用インク配合物。
【請求項５】
６０℃での前記第２の動的粘度の、９０℃での前記第１の動的粘度に対する前記比率が、少なくとも１．７：１、少なくとも２：１、少なくとも２．５：１、少なくとも３：１、少なくとも４：１、少なくとも４．５：１、少なくとも５：１、少なくとも６：１、少なくとも７：１、または少なくとも８：１である、請求項１～４のいずれか１項に記載のインクジェット用インク配合物。
【請求項６】
前記ポリマー樹脂／前記着色剤の重量比が、少なくとも１．７５：１、少なくとも２：１、少なくとも２．５：１、少なくとも３：１、少なくとも３．５：１、少なくとも４：１、少なくとも５：１、少なくとも７：１、または少なくとも１０：１である、請求項１～５のいずれか１項に記載のインクジェット用インク配合物。
【請求項７】
実質的乾燥時に、最大４０℃、最大３９℃、最大３７℃、最大３５℃、最大３２℃、最大３０℃または最大２８℃のガラス転移温度（Ｔ$_{g}$）を有する、請求項１～６のいずれか１項に記載のインクジェット用インク配合物。
【請求項８】
実質的乾燥時に、前記インクが、少なくとも６０重量％、または少なくとも７０重量％の前記樹脂を含む、請求項１～７のいずれか１項に記載のインクジェット用インク配合物。
【請求項９】
（ａ）水および、任意選択の共溶媒を含む溶媒と、
（ｂ）前記溶媒中に分散されるか、または少なくとも部分的に溶解された少なくとも１種の着色剤と、
（ｃ）前記溶媒中に分散されるか、または少なくとも部分的に溶解され、平均分子量が少なくとも８、０００である有機ポリマー樹脂と、
（ｄ）任意で界面活性剤、分散剤、およびｐＨ上昇化合物の内の少なくとも１つと、
を含み、
水および共溶媒を含む溶媒で希釈時に、請求項１～８のいずれか１項に記載の水性インクジェット配合物を生成する、インクジェット用インク濃縮物。
【請求項１０】
前記水性インクジェット用インク配合物を得るために、前記濃縮物に対する重量／重量ベースで、少なくとも５０％、少なくとも１００％、少なくとも１５０％、少なくとも２００％、少なくとも２５０％、少なくとも３００％、少なくとも３５０％、または少なくとも４００％の溶媒で前記濃縮物を希釈する必要がある、請求項９に記載のインクジェット用インク濃縮物。